

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 クルーズ株式会社

コード番号 2138 URL <http://crooz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小淵 宏二

問合せ先責任者(役職名) 経営戦略本部担当執行役員

(氏名) 霜島 豪介

TEL 03(5786)7080

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,952	—	2,452	—	2,430	—	1,478	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,487百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	130.89	120.76
25年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当連結会計年度より当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	6,642	—	3,995	—	60.0	
25年3月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,988百万円 25年3月期 一百万円

(注) 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第3四半期(累計)	17,652	—	3,052	—	3,044	—	1,861	—	164.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 平成26年3月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。
2. 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。
3. 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	12,802,000 株	25年3月期	12,781,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,493,400 株	25年3月期	1,493,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,299,098 株	25年3月期2Q	11,994,552 株

(注) 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、上記の株式数を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当社は、平成26年3月期第1四半期会計期間に新規に子会社の株式を取得したこと及びその他の子会社の重要性が高まったことにより平成26年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、回復基調が継続し個人消費も順調な伸びを示しました。インターネットビジネス市場においては、世界のスマートフォン普及が本格的に進み、モバイルインターネット領域が拡大を続け、その存在感をますます高めています。

特に、当社が注力事業と位置づけている世界のスマートフォンゲーム市場は、平成24年は8,000億円、平成29年には約1兆7,000億円規模の拡大が見込まれています（注1）。

そのような状況の中、当社におきましては、既存タイトルのソーシャルゲームが売上を牽引し、過去最高の四半期売上を更新しました。中でも、「アヴェロンの騎士」及び「HUNTER×HUNTER バトルコレクション」は、第1四半期連結累計期間に引き続き堅調に推移し、当社が提供するコンテンツの平成25年9月末時点の合計登録会員数は1,605万人（注2）を突破し、ソーシャルゲーム業界を牽引するポジションを確立しております。

さらに、インターネットコマース事業につきましても、消費動向が上向く中、第1四半期連結累計期間に引き続き積極的にプロモーション展開することにより、ネット通販サイト「SHOPLIST.com by CROOZ」は更に大きく売上を伸ばし、利益についても引き続き貢献するに至っております。

当社の強みとしましては、大規模プロモーションを継続投資できるだけの資本力とプロモーションノウハウや、上記のように集客力の強いタイトルを持っていること、多様なキャリアを持つ経験豊富な役員陣による高いマーケティング力が挙げられます。

また、当社は、大量のトラフィックに柔軟に対応できるインフラ共通基盤「Zeus」や開発ソースを部品化することで素早いチューニングオペレーションを可能とする開発高速化フレームワーク「Venus」などの独自の革新的な技術基盤を駆使して、常に技術力の強化に努めています。

今後につきましては、引き続き“オモシロカッコイ”プロダクトを次々と生み出し、マーケットシェアの拡大を図りつつ、ネイティブアプリなどの新しいタイトルを提供して、業界を牽引する会社を目指してまいります。

海外展開につきましては、マーケットの大きい東アジア（日本・韓国・中国）、北米（アメリカ・カナダ）、ヨーロッパを狙ってゲームを配信してまいります。その中で、シンガポール、アメリカ、韓国、ドイツの4カ国にマーケティング拠点を設立しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,952,067千円、売上原価は6,478,568千円、売上総利益は5,473,498千円、営業利益は2,452,632千円、経常利益は2,430,638千円、四半期純利益は1,478,920千円となりました。

（注1）米国市場調査会社International Data Corporation（IDC）の調査を基に記載しております。

（注2）会員数はCROOZ単体の数字のみを記載しており、閉鎖したタイトルや閉鎖予定のタイトルは会員数から既に除外しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

①インターネットコンテンツ事業

売上高は9,064,560千円、セグメント利益は2,262,744千円となりました。

②インターネットコマース事業

売上高は2,784,796千円、セグメント利益は144,089千円となりました。

③インターネットソリューション事業

売上高は102,709千円、セグメント利益は45,798千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,642,554千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,568,342千円、売掛金2,603,761千円、有形固定資産439,024千円及び投資その他の資産634,136千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,646,782千円となりました。主な内訳は、買掛金953,865千円及び未払法人税等991,875千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,995,771千円となりました。主な内訳は、資本金426,755千円、資本剰余金416,755千円、利益剰余金4,012,656千円及び自己株式△888,719千円であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、2,568,342千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,287,155千円の増加となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が2,411,906千円となったことであり、主な減少要因は、売上債権の増加額374,334千円、その他の負債の減少額489,144千円及び法人税等の支払額327,607千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは190,664千円の減少となりました。

主な増加要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式(株式会社BANEX JAPAN)の取得による収入97,860千円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出153,444千円、無形固定資産の取得による支出56,982千円、投資有価証券の取得による支出40,488千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは346,387千円の減少となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出184,094千円及び配当金の支払額169,317千円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績見通しは、売上高17,652百万円、営業利益3,052百万円、経常利益3,044百万円、四半期純利益1,861百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

当第2四半期連結累計期間における、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

当社は、第1四半期連結会計期間において、ソーシャルゲームの開発及び提供を中心とした開発会社である株式会社BANEX JAPANの全株式を取得して連結子会社とし、当第2四半期連結会計期間において同社を吸収合併しました。また、当第2四半期連結会計期間において、ドイツのベルリンに当社100%出資の子会社CROOZ Europe GmbHを設立し、連結の範囲に含めております。

なお、前事業年度において非連結子会社としておりましたCROOZ ASIA PTE.LTD.、CROOZ America, Inc.及びCROOZ Korea Corp.の3社を、重要性が増したことに伴い第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めており、前事業年度において持分法非適用関連会社としておりましたForGroove株式会社を、重要性が増したことに伴い第1四半期連結会計期間から持分法適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,568,342
売掛金	2,603,761
その他	314,826
貸倒引当金	△552
流動資産合計	5,486,379
固定資産	
有形固定資産	439,024
無形固定資産	
その他	83,014
無形固定資産合計	83,014
投資その他の資産	634,136
固定資産合計	1,156,175
資産合計	6,642,554
負債の部	
流動負債	
買掛金	953,865
未払法人税等	991,875
賞与引当金	30,000
ポイント引当金	10,812
その他	660,228
流動負債合計	2,646,782
負債合計	2,646,782
純資産の部	
株主資本	
資本金	426,755
資本剰余金	416,755
利益剰余金	4,012,656
自己株式	△888,719
株主資本合計	3,967,449
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	14,870
為替換算調整勘定	6,435
その他の包括利益累計額合計	21,305
新株予約権	7,016
純資産合計	3,995,771
負債純資産合計	6,642,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,952,067
売上原価	6,478,568
売上総利益	5,473,498
販売費及び一般管理費	3,020,866
営業利益	2,452,632
営業外収益	
業務受託手数料	5,517
その他	975
営業外収益合計	6,492
営業外費用	
投資事業組合運用損	3,472
持分法による投資損失	22,908
その他	2,105
営業外費用合計	28,486
経常利益	2,430,638
特別利益	
新株予約権戻入益	626
負ののれん発生益	326
特別利益合計	952
特別損失	
事務所移転費用	16,817
その他	2,865
特別損失合計	19,683
税金等調整前四半期純利益	2,411,906
法人税、住民税及び事業税	994,882
法人税等調整額	△61,896
法人税等合計	932,985
少数株主損益調整前四半期純利益	1,478,920
四半期純利益	1,478,920

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,478,920
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,372
為替換算調整勘定	6,435
その他の包括利益合計	8,807
四半期包括利益	1,487,728
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,487,728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,411,906
減価償却費	80,794
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△467
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,829
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,000
持分法による投資損益 (△は益)	22,908
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,472
事務所移転費用	16,817
負ののれん発生益	△326
新株予約権戻入益	△626
売上債権の増減額 (△は増加)	△374,334
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,600
その他の資産の増減額 (△は増加)	△109,569
その他の負債の増減額 (△は減少)	△489,144
その他	△248
小計	1,628,614
利息の支払額	△73
利息の受取額	243
法人税等の支払額	△327,607
事務所移転費用の支払額	△14,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,287,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△153,444
無形固定資産の取得による支出	△56,982
投資有価証券の取得による支出	△40,488
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	97,860
その他	△37,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	7,024
長期借入金の返済による支出	△184,094
配当金の支払額	△169,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	752,081
現金及び現金同等物の期首残高	1,776,239
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	40,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,568,342

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

該当事項はありません。